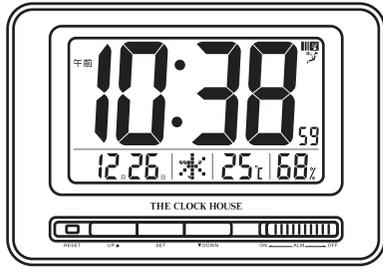
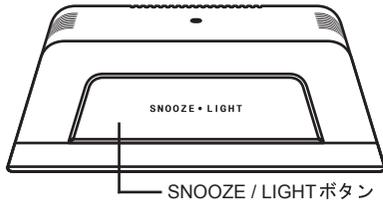


## ご使用方法

〈正面図〉



〈上面図〉



※実際の商品とイラストは多少異なる場合がございます。

### アラームの設定

■アラーム時刻の修正/設定を始めるにはUPボタン、またはDOWNボタンを一度押してください。カレンダー表示部にアラーム時刻が点滅表示されます。そこでUPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。どちらのボタンも一度押すごとに1分修正されます。“00”分を過ぎると時が変わります。修正中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒間押すと早送りが出ます。

■アラームの時刻修正後にアラーム設定は5秒後に自動的に終了します。

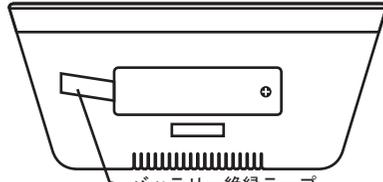
■アラーム・スヌーズ機能  
アラームを使用するためにALARMスイッチを“ON”に設定するとアラームマークが表示されます。時刻がアラーム設定時刻になると、アラーム音が（最長約5分間）鳴ります。SNOOZE/LIGHTボタンを押すとバックライトが点灯（点燈）、アラームは停止します。そして約5分後に再度アラームが鳴ります。アラームが鳴り約5分後に停止すると、自動的にスヌーズ機能が働き、約5分後に再び鳴ります。スヌーズ機能を止めてアラームを完全にとめるにはALARMスイッチを“OFF”にしてください。

注：  
この自動アラーム・スヌーズ機能は最大8回まで繰り返し、その後は停止します。

### バックライトについて

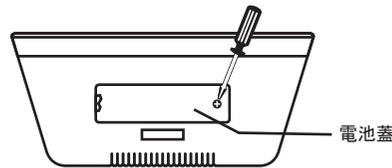
SNOOZE/LIGHTボタンを押すとバックライトが約4秒間点灯します。

〈底面図〉



バッテリー絶縁テープ：  
ご使用前に慎重に引き抜いてください

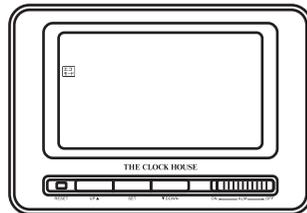
■重要事項：バッテリー絶縁テープを引き抜くとき、まれにテープが切れたり、完全に取りきれない場合があります。この場合はドライバーを使って電池蓋を開け、充電バッテリーを取り出し、残っている絶縁テープを取り除いてください。そのあとバッテリーを＋表示に従って挿入し、電池蓋を閉じ、ドライバーでネジをしっかり締めてください。このあとRESETボタンを一回押してからご使用ください。



電池蓋

### パワーセーブ（省エネ）機能

■この機能は周囲が暗い時に電気の消費を最小限に抑える機能です。時計の周囲が暗い時、時計はバッテリーの消費を少なくするために“パワーセーブ（省エネ）モード”に入り、ディスプレイからすべての表示が消え、“Eco-Mode”マークだけになります。周囲が再び明るくなると、ディスプレイは正常に戻ります。



パワーセーブ（省エネ）モード状態

注：  
・時計がパワーセーブ（省エネ）モードから正常に復帰すると、数秒後に温度、湿度が表示されます。パワーセーブ（省エネ）モードでは温度と湿度センサーが停止するからです。時計が正常の機能に戻ると温度と湿度センサー機能が再び働き、現在温度と湿度を約3秒後に表示します。

・パワーセーブ（省エネ）モード中にSNOOZE/LIGHTボタンを押すと、ディスプレイは正常に戻り、約4秒間明るく光り、暗い中での読み取りが出来ます。（SNOOZE/LIGHTボタンを押した後2～3秒後に温度と湿度が表示されます）。その後、時計は再度パワーセーブ（省エネ）モードに戻ります。

■時計をご使用になる前に

①この時計は、十分な明るさの状態が発電された余剰ソーラー電力を蓄えるための充電式バッテリーを内蔵しています。

②輸送中や保管中のバッテリーの自然放電を防ぐため絶縁体（テープ）を備えています。時計を最初にご使用になるときは、本体底部にある絶縁テープを慎重に引き抜いてからRESETボタンを一度押してください。一瞬ディスプレイに全ての表示要素が現れ、続いて正常使用の表示に変わります。

■重要事項：時計を箱から取り出した際に、まだバッテリー絶縁テープがついた状態でも時計がソーラー電力で動き始め、デジタル表示の一部が現れることがあります。この状態で絶縁テープを引き抜くと、時計は正しい駆動をしないことがありますので、絶縁テープを引き抜いてから必ずRESETボタンを押してください。

■時刻電波の受信

時計はリセットされると自動的に時刻電波をサーチし始めます。信号をサーチしているとき文字盤上部の電波信号マークが点滅します。電波信号を受信、認識すると、時計は現在時刻を表示します。電波信号マークが3本のバーを表示し（点滅は停止）、時刻の同期化が完了したことを表します。

注：電波信号の受信中に時刻または日付が手動で修正されると、受信は直ちに停止します。

### 手動による時刻設定の方法

■時刻修正を始めるためにはSETボタンを約2秒間押してください。“年”の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。

■SETボタンを一度押します。月と日の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。一回押すごとに日付数字が一つ変わります。月末/月初を越えるか、遡ると月が変わります。

■SETボタンを一度押します。時と分の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。一回押すごとに1分変わります。分が“00”を越えると時の数字が変わります。

■SETボタンを押してください。これで修正（セット）作業は終了します。

注：  
・修正中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒間押すと早送りが出ます。  
・修正中に約30秒間放置すると、修正を自動的に終了します。

### 電波が受信出来ない場合

■この時計は時刻電波信号を受信することにより機能するため、ご使用場所によっては電波信号が弱く、正常に受信できないことがあります。このような場合には受信マークが消え、受信に失敗したことを表します。

■一昼夜そのままにして様子を見る  
夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

■SETボタンで再度電波受信をする  
SETボタンを押すと再度電波受信状態になります。本説明書の電波時計についてを参照し、電波を受けやすい場所で再度電波受信をしてください。

■設置場所を変えてみる  
設置場所を変えて再度受信をさせて下さい。  
■設置場所を変える場合は、本取扱説明書の〈電波時計について〉を参照して下さい。

■手動で時刻を設定する  
〈手動による時刻設定の方法〉を読んで時刻を手動で合わせてください。

※操作中に不明な点が出てきた場合は、RESETボタンを押してください。設定されている内容が初期の状態に戻り、受信を再スタートします。

### 安全上のご注意～必ずお守りください～

「注意」「警告」の記載事項を必ず守って下さい。

#### ▲ 注意

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

#### ▲ 警告

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

#### ▲ 注意

■電池の使い方を間違えると電池が発熱、液漏れ、破裂してケガや機器の故障の原因となります。  
■分解・改造はおやめ下さい。  
■強いショックを与えないで下さい。  
■不安定な場所には時計を設置しないで下さい。  
※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

#### ▲ 警告

■この内蔵の充電式バッテリーは必ずこの時計にお使いください。また必ずこの時計を使用して再充電してください。決して外部の充電器で充電しないでください。  
■内蔵の充電式バッテリーを他の充電式バッテリー、或いは通常の電池と交換しないでください。  
■電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。  
■電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談して下さい。  
■分解や過熱、火に入れるなどしないで下さい。  
■+-の向きを正しく入れて下さい。  
■+-をショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯、保管しないで下さい。  
■電池からもれた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは大量のきれいな水で洗い流しすぐに医師の治療を受けて下さい。失明やケガなどの恐れがあります。

この度は液晶電波クロックをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書よくお読みの上、正しくご愛用下さいませようようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧下さい。

## 保証・アフターサービス

- 保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品はお買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- お買上店へご持参（または発送）いただく際の運賃・諸掛費用はおお客様にてご負担下さいませようお願いいたします。
- 保証期間中でも、無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理をご希望の場合は、有料での修理となります。
- 修理のとき、部品・付属品は一部代替部品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は本体の修理代金のほか取扱店と修理工場との間の往復運賃諸掛費用をお客様にご負担いただきます。その場合代金が本体価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも修理品はおお客様がお買上店にお持込頂きますようお願いいたします。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
  - ①本保証書のご提示がない場合。
  - ②本保証書に販売店およびお買上日の記載がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
  - ③誤ったご使用不注意、不当な修理・改造・天災地変等による故障または損傷。
  - ④ご使用中に生じる外観上の変化。（ケースガラス、その他付属品の傷など）
- 電池は保証の対象外です。

## 保証書 (Guarantee)

品番	
お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上日より1年間
お客様	ご氏名
	TEL
販売店	ご住所

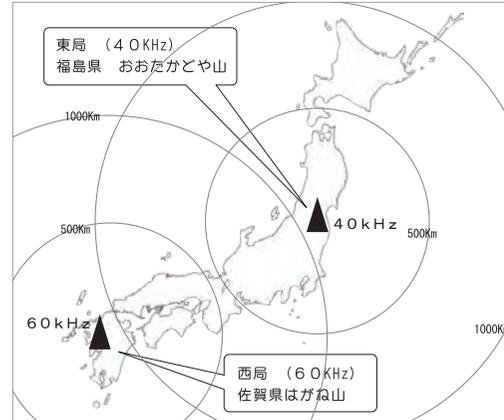
本保証書は日本国内のみ有効です。  
This guarantee is valid only in Japan.

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 電波時計について

### 標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信出来ないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波受信出来ない場合もあります。

### お手入れについて

- ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- 殺虫剤・ヘアスプレーなどがかからないようにして下さい。変色変形の恐れがあります。
- プラスチック製の時計の場合、枠を拭くときは湿ったやわらかい布で拭いて下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭き、拭いた後で乾拭きして下さい。
- 木枠・金属枠の時計の場合、汚れやほこりを取るときは柔らかい布で乾拭きして下さい。

※お客様が分解しますと修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また、保証の対象外となりますのでご注意ください。

### 使用場所について

本機は、電波を受信する時計です。正常に機能させるために、以下のような場所では電波受信しにくくなりますのでご注意ください。

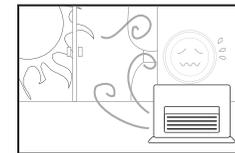


- ビルなどの地下。
- 高压線、架線の近く。
- 金属製雨戸やブラインドの近く。
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中。
- テレビなどの家庭電化製品やパソコンなどのOA機器の近く。
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ。
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところや、朝夕の時間帯や雨天の時。

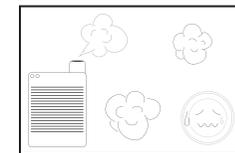
下記のような場所では使用しないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起す事があります。また本商品は業務用ではありません。



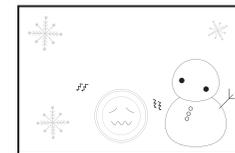
■ 振動のある場所



■ 暑い場所



■ 湿気の多い場所

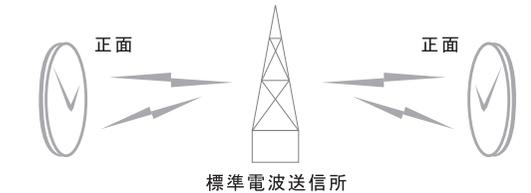


■ 寒い場所

- 温度が40度以上になる所や直射日光のあたる場所。屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が0度以下になる所。プラスチック部品や電池の劣化が起こる事があります。
- 塵、ほこりが多い所。空気中に舞上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーの側や強い磁気のある所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる事があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計を傷めることがあります。

### [ 正しい電波受信 ]

受信が困難な場合は、受信条件の良い場所に本機を移動すれば通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。



標準電波送信所

本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

- 電波を受信しない場合は窓際まで行き、電波送信所の方を向かせ再度電波の受信をしてください。

### 製品仕様

- デジタル表示：時刻/日付/曜日/温度/湿度
- 時計精度：平均月差+/-30秒以内（常温出の使用時）（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 使用温度範囲：0℃ ~ +50℃
- 使用電力：ソーラー発電（1.5V充電用バッテリー内蔵）
- 受信電波：標準電波JJY  
週波数：40kHz / 60kHz（自動選局）
- 電波受信機能：自動受信（午前2時から3時間ごと、次回受信までクオーツの精度で動いています。）
- 温度表示：-9℃ ~ +50℃  
（-9℃以下はLL表示とあります）  
（+50℃以上はHH表示とあります）
- 温度表示精度：+/-2℃
- 湿度表示：室温0℃ ~ +50℃で湿度は20 ~ 90%  
（20%以下はLL表示とあります）  
（90%以上はHH表示とあります）  
（室温0℃ ~ 50℃の範囲外は-%表示とあります）
- 湿度表示精度：+/-7%
- アラーム音最長継続時間：約5分
- アラーム間隔：約5分
- パワーセーブ（省エネ）機能

この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。印刷による制限のためにこの取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。弊社はこの時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。この取扱説明書の製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。